

港北区の「活動」をつなぐ情報誌

楽らく遊ゆう学がく

第303号

2023(令和5)年2月
隔月発行

【編集・発行】港北区区民活動支援センター

特集

港福一夜城 「港福城プロジェクト」(TEAM SASUKE)



(港福城プロジェクト(港福一夜城Vol.20)の皆さん)

- P.2 特集 港福一夜城 「港福城プロジェクト」(TEAM SASUKE)
- P.3・4 「わがまち港北」スポット
港北区地域子育て支援拠点どろっぷ／どろっぷサテライト
- P.5 遊学スポット (港北区内・周辺のイベント情報)
『港北区グループ・団体ガイド』登録の会員募集
- P.6 区民活動支援センターからのお知らせ



港北区でお城といえば？まず思い浮かぶのは、発掘調査のニュースも記憶に新しい、続日本100名城の小机城でしょうか。もちろんそれも正解ですが、実はもう一つ、港北区が誇る地域の明日を担う名城があるのです。

その名も「港福一夜城」。その名のおり数か月に一度、一夜限りに出没する港福一夜城と、その築城を陰で支える港福城プロジェクト(Team SASUKE)を、約半年間取材しました。

地域住民の明日の暮らしの幸せを築く、が旗印

「港福一夜城」

港北区にゆかりのある人々や、思いを持つ人々が、属性(=職業、分野、世代、役職等)を超えて集まり、横断的に連携する(=身近なテーマを聞き合い、語り合う)ことで、住む人が幸せになっていく地域をつくる、学びと交流の広場です。多くの人に参加できる、学校・仕事終了後(19時頃～)に開城します。2016年10月開催の第1回から始まり、直近は2022年11月の開催で23回を数えました。

その夜のご当主となる〈語り手〉と、聴衆代表の〈聞き手〉との対話によって進行します。提供されるテーマは、地域の子ども、若者、高齢者、外国につながる人、障害のある人、食、IT、まちづくりイベント、妊産婦の移動手段、元アスリートのセカンドライフ等々、多岐に渡ります。ご当主には教育関係者、医療関係者、企業トップ、港北区長も登場したことがあります。2019年までは港北公会堂会議室等を会場に集まり、コロナ禍以降の2020年からはオンライン参加を導入しました。

昨年(2022年)に開催された第22回(6月29日参加者67名)は、〈ご当主〉浅川素子さん×〈聞き手〉三宅円夏さんで「普通って何？自立って何？」、第23回(11月26日参加者79名)は〈ご当主〉林香織さん×〈聞き手〉山下容子さんで「地域で普通に暮らしたい ～つぶやきから広がる景色～」でした。いずれも障害や病気、医療的ケアとともに生きる

るお子さんのお母さんの視点から、また医療者としての専門的な観点から、障害の有無の区別なく互いに暮らす“普通”の必要性や、“普通”とされる人達にも生きづらさはあることが語られました。



港福城プロジェクト(Team SASUKE)と〈福の衆〉

港福一夜城を動かす実行部隊が「港福城プロジェクト(Team SASUKE)」です。区内で福祉等に関わる団体や個人が多く集まっているとのことですが、その働きは、組織とも個人とも限定されず、ぱっと集合して打ち合わせをするときもあれば、オンラインを使うこともあるそうです。また情報発信をTwitter(公式)で行っています。忍者佐助を連想させる名称さながらに、変幻自在にして迅速・確実、そして主体的なチームです。



第22回の顔合わせ兼打合せ
(2022年5月)



第23回の打合せ
(2022年10月)

一方、プロジェクトの賛同人として、生涯学習活動や市民活動で良く聞くお名前が並んでいることも目を引きます。「福の衆」と呼ばれる方々です。自らもプロジェクトメンバーであり福の衆である畑中さん(写真右)にお聞きしたところ、「見ての通り区内で様々な活動や事業を展開・牽引している皆さん



畑中さん
TEAM SASUKE(認定NPO法人
びーのびーの地域remix内)
兼 福の衆

ですが、これは港福城プロジェクトの立ち上げ時に、快く「呼びかけ人」を引き受けてくれたところから始まりました。その後もこのプロジェクトを応援・見守ってくれる方が増え、今ではいざ港福！というときの心強いサポーター一隊です」とのことでした。

地域の人々の多様な関心が重層的に集まって堅固に築かれる港福一夜城、今後も要注目です。



港福一夜城のこれまでのラインナップや今後の予定等、ホームページでご覧になれます。
👉 港福一夜城ホームページはこちら



港福一夜城
公式Twitterはこちら



2005年(平成17年度)、港北区地域子育て支援拠点として大倉山に産声をあげたのが「だろっぷ」です。子育ての不安をできるだけ和らげようと、行政と地域が一体となりスタートした先行モデル事業でした。

以降、子育て支援拠点は、市内18区内に1拠点ずつ誕生し、2012年(平成23年度)に18区すべてへの設置が完了しました。子育て家庭のために、また、子育て支援に関わる方のために様々な機能を備え、「地域全体で子育て」の流れを作るきっかけとなった、拠点第1号の「だろっぷ」をご紹介します！



手作りバルーンでお出迎え@大倉山だろっぷDays

住所:横浜市港北区大倉山3-57-3
 電話:045-540-7420 FAX:045-540-7421
 開館時間:火曜日～土曜日 9:30～16:00
 休館日:日曜日・月曜日・祝日・年末年始・特別休館日
 ※ 隔月日曜開館あり。
 交通:東急東横線「大倉山駅」下車 徒歩10分

公式ホームページはこちら

<https://www.kohoku-drop.jp/guide/drop-ookurayama/>



子どもがまんなか みんなで子育て

だろっぷは、妊娠期及び0歳～未就学児とその家族、地域で子育てを応援している方のための施設として大倉山に誕生し、今年で17年目を迎えました。

この町で子どもを産み、育てていく中で、多くの人と出会い、愛されながら「みんなで子育て」をしていければいいな、との思いのもと、誰もがいつでも気軽に立ち寄れる場所として開かれています。

妊娠期の両親教室から定期的にだろっぷに通う方の中に、お茶づけで有名な食品メーカーの社員さんがいたことがきっかけとなり、企業とのコラボも実現。また、老若男女を問わず誰でも集える場所として、地域の方がピアノ演奏をしてくれるなど、利用者親子とも交流するひとときを、日常的に楽しんだりしています。



だろっぷ外観(左)と地域の方のピアノ演奏会(右)

2年目を迎えた「だろっぷDays」

だろっぷ開設の翌年から毎年開催されてきた地域開放行事「だろっぷデー」ですが、コロナ禍の影響を受け2020年度は中止となりました。しかし、翌年2021年から、名前も新たに「だろっぷDays」として再開！今年度も、この企画に賛同した組織・団体が一体となり協働で様々なイベントを、1週間の日替わりで実施しました。

地域作業所の作品を並べた小箱ショップや採れたて野菜の販売、木工体験やちぎり絵、缶バッチづくり等のボランティアによるお楽しみ企画、オンライン視聴も可能な利用者主体の演奏会など、密を避け、感染症対策をしながら、子どもと一緒に、地域の方、どなたでも楽しめる内容となりました。



採れたて野菜(左)とぬくもりあふれた木工作品(右)

2016年(平成28年度)地域子育て支援拠点サテライトとして綱島に誕生したのが「だろっぷサテライト」です。市内ではもっとも早く、同区内に2拠点目が開設されました。大倉山だろっぷの運営ノウハウを活かし、地域の方々はもちろん、すぐ隣にある綱島東小学校の子どもたちとの交流もあり、赤ちゃんから高齢者まで様々な世代の交流の場として、綱島・日吉エリアはもちろん、区内北部に引っ越しをしてきた子育て世代と地域の方々を結びつける拠点として重要な役割を担っている「だろっぷサテライト」をご紹介します！



地域子育て支援拠点だろっぷサテライト外観

住所:横浜市港北区綱島東3-1-7
 電話:045-633-1078 FAX:045-633-1072
 開館時間:火曜日～土曜日 9:30～16:00
 休館日:日曜日・月曜日・祝日・年末年始・特別休館日
 ※ 隔月日曜開館あり。
 交通:東急東横線「綱島駅」下車 徒歩10分

公式ホームページはこちら

<https://www.kohoku-drop.jp/drop-satellite-tsunashima/>



親子が安心して過ごす第二のおうち

だろっぷサテライトは、区内でもとりわけ新しく転入してきた子育て世代の多い綱島地区にあります。妊娠期及び未就学児の子どもとその保護者を対象とした子育て支援施設として誕生し、今年で7年目を迎えました。

初めての子育てに不安はつきものです。地元の行事に関わる機会がなく、知り合いも少ないとなればなおさら、地域ぐるみの子育て支援は不可欠です。引っ越してきたばかりの頃、どこにも行くあてがなく、毎日サテライトに通っていたという方に話を聞いたところ「ここに来ればいつも誰かがいて、家ではできないこと(例えば夏なら水遊び)ができて、親同士もつながれる。無料というのもありがたかったです」と教えてくれました。今は、子どもたちも小学生となり、日中の空いた時間を使い、ボランティアとしてサテライトに来ているそうです。



お庭で水遊び(左)と赤ちゃんコーナー(和室)(右)

町ぐるみ 世代まるごとぐるっとまるっと

サテライトでも地域開放行事を行っていました。その名も「ぐるっとまるっとWEEK」(略してぐるまる)。この数年、コロナの影響で縮小を余儀なくされたものの、地域の方やボランティアの方々との協働で、連日盛りだくさんのプログラムを提供していました。取材当日は、「こぐまりずむ」のピアノに合わせサンタが登場し子どもたちは大騒ぎ！(写真下)他にも木工体験やよさこい踊り、バルーンアートに読み聞かせ、防災用品の展示など、お庭で、ひろばで、オンラインで、地域の方、親子連れ、どなたでも参加できるイベントとして定着しています。



手あそびとピアノ「こぐまりずむ」(左)と綱島サンタ(右)

遊学スポット(港北区内・周辺のイベント情報)

ここに掲載されている内容は、2022(令和4)年12月26日現在の情報です。詳細は、問合せ先にご確認ください。

アランフェスギターサークル「クラシックギター演奏会」

日時:2月25日(土)13:15~17:00

会場:大倉山記念館ホール

参加費:無料(予約不要・入退場自由)

問合せ:兼平(かねひら) TEL 090-9975-8056

Eメール aranjuez2005@gmail.com



大倉山ジョイフルコンサート「AYAMEアンサンブル・バロック」

日時:3月19日(日)14:00開演(受付開始13:30)

会場:港北公会堂

料金:大人・高校生 2,000円 中学生以下 1,000円(全席自由)

未就学児入場不可 予約専用電話:080-8424-5108

問合せ:HP <https://www.ohkurayama-joycon.com>

小机城のあるまちを愛する会・よこはま縁むすび講中実行委員会 講演会「茅ヶ崎城他、中世城郭の構造」

日時:2月26日(日)10:00~12:00 定員:100名(先着順)

会場:横浜市歴史博物館 講堂 参加費:無料

問合せ:松岡 TEL 070-6551-9767

Eメール matsuoka8690@gmail.com

港北図書館友の会「読書サロン」

① 2月26日(日)-個人作家を愉しむ「須賀敦子」

② 3月26日(日)-「民話の世界物語」

時間:各回 13:30~16:30 参加費:無料

会場:港北図書館2階会議室 当日直接会場へ

問合せ:事務局 TEL 423-2223(八木クリニック内)



港北童謡の会

① 2月21日(火) 竹内雅拳先生

② 3月14日(火) 柴山秀明先生

時間:各回14:00~16:00 会場:港北公会堂

参加費:900円/回 事前申込不要 当日直接会場へ

問合せ:はかりや TEL 070-5556-1491

山本 TEL 090-6924-4650/竹内 TEL 090-6521-5879



第13回 大倉山ドキュメンタリー映画祭

日時:3月25日(土)10:00~ 26日(日)10:30~

会場:大倉山記念館 料金:一般1,600円(2作品目以降は

1,000円) 高校生・シニア・障がいのある方1,000円(要本人

確認証) 予約:090-6190-8588(三浦)またはFAX 434-9270

に氏名・電話・鑑賞したい作品・鑑賞人数を記入の上送信

詳細は公式ブログをご覧ください <http://o-kurayama.jugem.jp>

港北ボランティアガイドの会

「春風に吹かれ 新羽から太尾へ」(約4.8キロ)

日時:3月23日(木)9:30~12:30 集合:市営地下鉄ブルーラ

イン北新横浜駅エスポット前広場 解散:横浜アリーナ

定員:40人(応募者多数の場合は抽選) 参加費:500円(保

険料等) 申込:HPの応募フォームまたは往復はがきに①「新

羽から太尾」、②〒住所・氏名(ふりがな)、参加者全員の氏

名・年齢・電話番号③返信用に宛名を記入の上、区民活動支

援センターまで 締切日:3月13日(月)必着

問合せ:港北ボランティアガイドの会

<https://kouhokuvvg.yokohama/>



神奈川区いまむかしガイドの会「神奈川歴史散歩」

①3月25日(土) 新コース弥生台(約4.5キロ) 相鉄いずみ野

線弥生台駅集合 ②4月1日(土)森林公園(約4.5キロ) JR京

浜東北線石川町駅元町口集合 集合 8:30~9:00

解散12:00~12:30 定員:約100名(応募者多数の場合は

抽選) 参加費:500円(保険料含) 申込:HPの応募フォーム

または往復はがきに開催日・コース名・〒住所・氏名・電話番号・

参加者全員の氏名を記入の上、〒221-0802 神奈川区六

角橋1-10-11 すぺーすろっかく内「NPO法人 神奈川区いまむ

かしガイドの会」 締切日:開催日の15日前必着

問合せ:長谷川 TEL 090-8817-0001

『港北区グループ・団体ガイド』登録の会員募集

着付けサークル

簡単に結べるお太鼓の前結びを始めました。カジュアルからフォー

マルな装いまで、楽しみながらお稽古できます。(月2回 各2時間)

日時:会場:火・土曜9:45~篠原地区センター/木曜10:00~

菊名コミュニティハウス/月曜12:30~城郷小机地区センター

会費:2,000円~2,500円/月2回 入会金:1,000円

問合せ:浜口 TEL 432-4550

男の料理

家庭料理を中心に、男性でも手軽にできる料理を指導していた

だき、皆で楽しく食事をしています。見学大歓迎!

日時:毎月第2日曜日 9:30~13:00 会場:菊名地区センター

会費:2,000円/月(材料費含)

申込・問合せ:御村(みむら) TEL 433-5262

Eメール m.nakatehara.412@docomo.ne.jp

英会話サークル スマイル

音読を中心とした小中高校生徒のクラスが大好評。大人、学

校の先生の会話クラスもあります。是非ご参加ください。

日時:月2回 木曜・金曜 16:30~18:00

会場:菊名地区センター、菊名コミュニティハウス他要相談

会費:2,200円(月2回分)+会場費 入会金なし

スタンダードジャズ同好会

CDや生の歌でスタンダード、ジャズ等本当に良い音楽に触れる会。

作曲家、歴史などの面白い話も加えた楽しい会。見学自由

日時:月1回 金曜 15:00~17:30

会場:菊名地区センター、菊名コミュニティハウス等

会費:1回 500円(資料代含む)入会金なし

上記2団体の問合せ:明瀬(みょうせ) TEL 090-7011-7156

Eメール k-mose10@dune.ocn.ne.jp

「遊学スポット」掲載希望の方へ 次号は304号(2023年4・5月号)です

次号(304号)の「遊学スポット」ならび「登録グループからの会員募集」掲載依頼の原稿締切は、**2月28日(火)**です。

概ね4月10日~6月10日迄のイベント情報をお寄せください。詳しくは区民活動支援センターまで!

区民活動支援センターからのお知らせ

花と木のウォーキングツアー 第4回・第5回 参加者募集中!



第4回 大倉山の歴史と梅の散策へ

実施日: 2月28日(火) (行程: 約3.8km)

集合場所: 大倉山記念館前広場 集合時間: 午前9時30分

募集人数: 60人(応募多数の場合は抽選)



応募締切: 2月17日(金)必着 <応募フォーム>

第5回 春を探して 小机から新横浜へ

実施日: 3月15日(水) (行程: 約4.0km)

集合場所: JR小机駅改札口前 集合時間: 午前9時30分

募集人数: 50人(応募多数の場合は抽選)



応募締切: 2月28日(火)必着 <応募フォーム>

応募方法: 上記応募フォームまたは往復はがきに ①ツアー名「花と木4」(2/28) または「花と木5」(3/15) ②〒住所・氏名(フリガナ)、複数人の場合は全員の氏名(フリガナ)・年齢・電話番号 ③返信用に住所・氏名を記入のうえ区民活動支援センターへ

「港北地域学」講座 ~もっと学ぼう! 港北区のあれこれ~

<応募フォーム>



第4回 地域学のはじめ方 ~むら・まち・くに~

地域を知ることは自分を知ること。ですが、現代では見えにくくなっている地域のとらえかたについて、『地域学をはじめよう』(岩波ジュニア新書)、『地域学入門』(ちくま新書)から、基礎的なお話を聞きます。



実施日時: 3月2日(木) 13時30分~15時30分 会場: 港北公会堂2階1号会議室 受講料: 無料 募集人数: 50人
講師: 山下 祐介氏(東京都立大学 人文社会学部教授) 応募期間: 1月25日(水)~2月23日(木) (応募多数の場合は抽選)
応募方法: 港北区のHPで「港北地域学」の応募フォームからお申込みください。

令和5年度「地域のチカラ応援事業」を募集します!

みなさんのアイデアや思いを活動につなげ、地域のまちづくりや、地域住民を元気にする活動を応援する補助金を交付します。地域で取り組む活動であればジャンルは問いません。※5人以上の仲間でご提案ください。

ヒアリング期間: 2月1日(水)~3月10日(金) 平日9時~17時 要予約

受付期間: 2月14日(火)~3月13日(月)

※申請書をもとに、事前に20~30分のヒアリングを行います。

制度の説明、申請書類の記入など応募の相談は、窓口他、電話、メールでも対応します。

問合せ: 港北区役所地域振興課地域力推進担当

TEL540-2247 FAX540-2245 Eメール ko-chikara@city.yokohama.jp

チャレンジコース

最大 **30万円**

(補助対象経費の5分の4以内)

活動実績のある団体が地域の課題にチャレンジする事業

※本事業は、横浜市会における令和5年度予算の議決をもって確定します。

港北区地域のチカラ

検索

「港北水と緑の学校」展示会

申込不要・無料

<小学校で作成した環境防災学習の成果物や活動風景の様子などの展示>

展示1 日時: 2月1日(水)~11日(土祝)10時~17時 会場: 地域防災施設鶴見川流域センター2階展示室※火曜休館

展示2 日時: 2月14日(火)~20日(月)10時~21時 会場: トレッサ横浜 南棟2階フラワーガーデン前(最終日は15時まで)

サブ企画 <鶴見川に生息する魚などの展示>

日時: 2月19日(日)10時~16時 会場: トレッサ横浜 南棟2階フラワーガーデン前

問合せ: 区政推進課企画調整係 TEL540-2229 ・ NPO法人鶴見川流域ネットワーク事務局 TEL546-4337

ご意見ご感想をお寄せください

港北区区民活動支援センター(港北区役所4階48番窓口)

〒222-0032 港北区大豆戸町26-1

TEL&FAX 540-2246 Eメール ko-center@city.yokohama.jp

★開館時間★ 月~金曜 8時45分~17時(土・日曜、祝日、年末年始除く)

ホームページ
はこちら

